

素晴らしい3年生の紹介の後は、生徒代表の話です。欠席した山本翔大さんの話を、三戸心愛さんが代読してくれました。

今日は本来、この場で話す予定だった、山本翔大さんがお休みしてしまったので翔大さんの話を私が代わりに話します。そして私の思いも一緒に聞いてください。

これから山本翔大さんの思いを話します。

私は初めて生徒会総務という重大な役に立候補しました。生徒会総務は今までやってきた、学級委員や議員とは一つ違う点があります。それは日々学校をより良くするにはどうすればいいかなどの考えを、持たなければならないことです。私は今日までこの考えを忘れずに生活してきました。

そんな私はこの2期に頑張った、努力できたといえることがあります。それは川中四本柱にもある「合唱」です。最近には川中音楽祭もありました。私は合唱が好き、歌うのが好きというわけではありません。皆さんの中にも、そういう人がいると思います。一方、逆の考えの人もあります。みんなが決してまったく同じ考えをもっているわけではありません。あなたにはあなたなりの考えがあると思います。いや、あるんです!でも、川中音楽祭の当日まで全てのクラスや学年は学級合唱、学年合唱を数えきれないほど歌ってきたと思います。その合唱中にも仲間とぶつかり合い、共に高みを目指してきたのだと思います。そんなことがあったからこそ私は今までの合唱があると思います。一年生は各学級に順位がつけられていて、一位になろうと努力したと思います。結果はわかりませんが、どの学級も自分の精一杯を出していたと思います。二年生は最初合唱への意識が低く、事前取り組みも良い結果とは言えませんでした。でも合唱班の思いがみんなに伝わったのか、本番に向けて追い上げるような姿でした。やっぱり本番でもやり切った、だからこそ楽しい音楽祭だったと思えたのだと思います。私は合唱班だけに頼るのではなく、私たちに何かできるのではないか、何か手伝えることはないのかを考えて、生活してきました。三年生は今年で最後の音楽祭でした。本当にお疲れ様です。そして感動する合唱ありがとうございました。最後だからこそ、一、二年生を超えるような迫力や全体の統一感が表現できたのだと思います。私はリスペクトアザーズの時にも、「合唱は1人だけでは創れません、学級の仲間がいるからこそ創り上げれるものだと思う」と言いました。私の言った言葉が全校のみなさんに伝わり、それができていたと思いました。私も自分で言ったからには、それにふさわしい行動をしました。ネガティブな発言をせず仲間を盛り上げたり、合唱時間を確保しようと呼びかけしたりしました。そして周りの仲間も私の考動をみて、つなげてくれました。

私はこんな仲間と一緒に合唱ができてとても嬉しいです。私は3期になっても、合唱でつちかした考えを忘れず3期も頑張っていきたいです。(山本翔大)

翔大さんはどんなことにも一生懸命に動いていました。それはきっと翔大さんの中にある大きな「責任感」という考えがあるからだだと思います。合唱では、例え歌うことが苦手でも歌うことが好きではなくても誰よりも大きな声で歌い、仲間の歌声を引っ張っていかうしたり合唱の練習時間を

なるべく多く確保できるように呼びかけたりするなどの動きをしていました。また生徒会でも、朝の挨拶活動に積極的に参加し、自分から大きな声で「おはようございます」と挨拶している姿や活動に悩んでいたら声をかけ助けてくれる姿もありました。そんな姿に励まされた2Aの仲間や全校のみなさんがいるのではないのでしょうか。私はそんな翔大さんの姿を見て、「私も頑張ろう」と思うことができます。一生懸命に動く姿。仲間のために動く姿。そんな姿は生徒会スローガンである「輝」にふさわしい姿だと思っています。みなさんもみなさんなりの輝ける姿が必ずあると思います。そんな輝ける姿を自分なりに見つけ出し、高め合えるように冬休み明けも一緒に頑張りました。（三戸 心愛）

山本さんの話はとても素晴らしかったです。そして、それを大変力強く代読していた三戸さんの姿もとても素晴らしかったです。（その迫力に圧倒されました!!）

「自分なりの輝く姿」を、Ⅲ期も自分なりに見つけ出し、互いに高め合っていきたいですね。Ⅲ期が待ち遠しくなるような、締めくくりとなりました。